

令和4年度 事業報告

社会福祉法人 紀北和楽会

1. 運営理念

「たすけ一条」の実践を通して「陽気ぐらし」の実現を標榜する天理教の教えに基づき、児童養護事業を通じて、家庭での養育が困難な児童が生きる基盤を獲得することを支援し、児童の権利擁護と社会福祉の増進を図り、以て「陽気ぐらし」の実現に資する。

2. 運営指針

「人の子も我が子も同じ心をもておふし立ててよこの道の人」の天理教初代真柱様のお言葉に基づき、家庭での養育が困難な児童を当法人と施設の理念を理解した職員がともに生活する中で生きる喜びを感じ、たすけ合いを基盤とした温かい人間関係を深め、心身の安心を図り、児童が社会の中でその徳分を活かし、持てる力を十分発揮し、社会の一員として自立できるよう、やがて「陽気ぐらし」の実践ができるように支援・養育する。

また関係機関と連携しつつ、地域の福祉に寄与する。

3. 基本信条

「人の幸福はその境遇にあるのではなく、人生の苦楽は外見によって定まるのではない。すべては、銘々の心の持ち方によって決まる。」との考えのもと、

一、朝起き、正直、働きを実践する。

二、人のことを思い、仲良く助け合える心を育む。

三、物を大切にすることを育む。

四、生かされていることに感謝し、日々の暮らしの中に喜びを味わえるように共に歩む。

4. 事業内容

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、天理教の教えに基づき、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又は自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

(イ) 児童養護施設の経営

(2) 第二種社会福祉事業

(イ) 子育て支援短期利用事業の経営

5. 役員・評議員名簿（令和4年度）

役員	氏名	役員	氏名
理事長	船井 芳孝	評議員	山中 修
理事	前田 信也	評議員	船井 真一
理事	赤阪 繁一	評議員	富松 伸六
理事	小嶋 育子	評議員	前田 昌平
理事	中村紀美子	評議員	大谷 理恵
理事	船井 一二	評議員	辻田ゆみ子
監事	松本 肇	評議員	山下 栄亮
監事	窪田 哲		

6. 人員及び施設の概要

(1) 児童定員：40名

(2) 月別初日在籍児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延べ	平均
未就園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幼児	8	8	8	7	7	7	8	8	8	8	8	8	93	7.6
小学生	11	11	11	12	12	12	12	12	13	13	12	12	143	11.9
中学生	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	78	6.5
高校生	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	97	8.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	35	34	34	34	34	34	34	34	35	35	34	34	411	34.2
一時保護	1	1	3	2	0	1	0	1	1	1	1	3	15	1.3

一保：幼児→6/10～6/28・8/17～9/25

：小学生→5/13～6/14・6/1～7/5・10/5～11/21・11/7～12/15・12/23～1/16・2/28～3/17
1/19～

：中学生→～7/21・2/17～3/16

(3) 入退所状況及び累計

入所児童	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
	男子児童	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3
	女子児童	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	5
	合計	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	4	8
退所児童	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
	男子児童	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4	6
	女子児童	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	4
	合計	1	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	1	5	10

7. 職員数（年度当初）

○施設長	1名	○主任保育士	1名	○基幹的職員	0名
○保育士	16名	○児童指導員	3名	○心理担当職員	1名
○看護師	1名	○里親支援専門相談員	1名	○栄養士	1名
○事務員	1名	○調理員	4名	○嘱託医	1名

上記に、家庭支援専門相談員 2名 個別対応職員 1名 を含む

◎職員数合計 31名

8. 特記事項

(1) 基本信条の実践

それぞれ児童に、ターゲットスキルを設定しプログラムに添った養育の手法で取り組んだ結果、多くの児童がそれよりも成長することができた。また、PCでサーバーにあるデータベースソフトに入力することにより職員が児童の様子、状況を共有することができた。

天理教の神様にお供えされたお米を毎日頂戴し、また野菜や果物のおさがりを毎月頂戴した。

(2) 衛生管理の徹底

衛生管理は看護師・栄養士・医務担当を中心に、その予防と対処方法を明確にし、衛生指導を徹底した。

日常の新型コロナ対策として、職員のマスク着用、手洗い・換気に心がけた。また、ご厚意により、光触媒コーティングをしていただいた。

(3) ご寄付

今年度も、延べ18名の方からお心寄せを頂戴いたしました。たくさんの方々から、お菓子・飲み物・果物・本・衣類などをご寄付いただきました。

ご厚意に感謝いたします。

9. 各種報告

(1) 年間行事

月	園内	教会・地域・招待等
4	自治会・お誕生日会	
5	自治会・お誕生日会・模擬店	
6	自治会・お誕生日会・定期健康診断	
7	自治会・お誕生日会	
8	自治会・お誕生日会・キャンプ・ハイキング	
9	自治会・お誕生日会	

10	自治会・お誕生日会	
11	自治会・お誕生日会・ハイキング	
12	自治会・お誕生日会・クリスマス会・大掃除・定期健康診断	
1	自治会・お誕生日会	
2	自治会・お誕生日会	
3	自治会・お誕生日会・送別会	

(2) 職員研修

月	研修内容
4	
5	福祉レクレーション研修、なでしこ研修、近養協総会、和養協総会
6	ファシリテーション研修、近養協研究協議会おおさか大会、近畿地区里親研修会 発達障がい児・者処遇研修、子供の権利擁護機能強化研修、「人権感覚を育てよう」
7	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース、人権研修(大切ないのち) 「児童福祉法の改正について」
8	児童の権利擁護・虐待防止研修、「アンガーマネジメント」 「性別で見る多様性と人権」、天理教社会福祉施設職員研修
9	安全管理者講習、「トラウマインフォームドな視点」、日本ユング心理学会研修 「子ども虐待防止オレンジリボン運動」、児童養護施設指導者研修
10	「SSTお金に関する話」
11	全養協施設長研究協議会大分大会、サポステ研修
12	「施設で働く職員のメンタルケア」、メンタルヘルス研修
1	和児福職員研修、「クレーム・苦情対応」、「児童養護施設における性と性の実践」
2	児童福祉施設職員研修特別研修①(チームワーク)、リスクマネジメント研修、 防災啓発研修会、「子どもの育ちを基本とした養育支援」、基幹的職員研修、労務管理研修
3	児童福祉施設職員研修特別研修②(エクトリダー)、 「真の初心者のための夢セミナー」

上記以外に複数月にわたり、中堅研修、CSP幼児版正規講座

10. 新型コロナ感染者

新型コロナへの対策を行ってはいたが、令和4年9月に児童1人、令和4年12月から令和5年1月にかけては児童14名・職員11名が感染した。

いずれも、橋本保健所と連絡・相談し、県子ども未来課、子ども・女性・障害者相談センターへ報告した。感染児童は地域小規模児童養護施設「みゆき」の建物を使い隔離・療養をした。感染者全員は重症化することなく全員治癒し、全員元気に復帰した。